

障害者の自立した生活を目指し
生活支援ホーム「こぶしの里」竣工

特定非営利活動法人「のぎくの会」（小野塚テイ子理事長）によって木津地区に建設が進められていた生活支援ホーム「こぶしの里」が完成し、12月23日、関係者が集まって見学会と祝賀会が行われました。

この施設は、視覚重複障害者施設「のぎくの家」の通所者が親や家族から離れて自立して生活することを目的に、昨年9月から建設されていたもので、障害者が安心して食事や入浴、就寝などができるあたたかい生活の場を目指しています。

のぎくの家は、障害者の通所施設として昭和63年に上町に開所し、古紙や廃油などを集めてハガキや石けんなどを作る作業を通して障害者の社会参加を進めようとして取り組んでいるほか、地域の方々と毎年一緒に夏祭りを開催して、障害者に対する啓蒙・交流活動にも力を入れています。



今年1年間の幸せを願い、
町内各地で小正月行事のさいの神

1月13日、小正月行事である「さいの神」が、川根町の農村公園で行われました。

当日の朝、地域公民館の役員や住民の方々15名によって、竹やわら、まめがらなどを使って、約40分ほどで高さ約5mと3mの2つのさいの神が組み立てられ、しめ縄などの正月飾りや御札なども中に埋め込みました。

子どもやお年寄り、家族連れなどたくさんの住民の皆さんが見守る中で午後3時から神事が始まり、3時20分頃に点火。パチパチ音を立てながらまたたくまに燃え上がり、ドーンと激しい竹の爆発音が鳴る中、無病息災・家内安全・五穀豊穡などを祈り、竹につるしたスルメを焼いて食べたり、振る舞われたあつあつの豚汁で体を温めたりして、伝統行事を楽しみました。

13日・14日には、川根町のほかに町内各地でもさいの神が行われました。



中国のおいしい家庭料理に舌鼓
水ぎょうざ作り教室で国際交流

1月20日、よこごし国際交流協会の主催により、中央公民館で水ぎょうざ料理教室が開催され、7名の留学生たちを含む約40名が参加しました。

この教室は、中国の家庭料理である水ぎょうざ作りを通して、中国人留学生との交流を深めようと毎年開催されており、今回で4回目。留学生たちの日本語による自己紹介の後、エプロン姿の参加者たちは、肉や白菜などの具の混ぜ方、それぞれの材料の分量、小麦粉のこね方、皮ののばし方などを留学生たちから教わり、話をしながら楽しく作りました。やがて沸騰した鍋に次々とぎょうざを入れていき、できたてをニンニクやしょう油・酢などを混ぜた特製のたれで食べ、とてもおいしいと大変好評で、自宅でも作りたいという声がありました。

前日には、町内でホームステイをして日本の家庭を体験し、日中の交流を深めました。



元気いっぱいの子どもたち
キッズスポーツ教室でスケートを体験

12月25日、新潟アイスリンク（新潟市）において、町教育委員会で主催しているキッズスポーツ教室のスケート体験教室が開催され、スキーウェアを身にまとい、スケート靴・手袋・ヘルメットを着用した53名の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、はじめにアイスリンク専属の指導者から20分ほど指導を受けた後、最初はずるずるのリンク上で思い通りに動かない足に四苦八苦していましたが、コツをつかんですぐに上達。ふだん履き慣れないスケート靴でいっぱいすべって「足が痛い」と言っていた子どもたちは、ちょっと休むと再び元気よくリンクへ飛び出して行きました。

キッズスポーツ教室は、子どもたちの運動能力を伸ばし、楽しみながら心身を育てることを目的に、ドッジボールやカヌー、水泳、マット運動なども行っています。

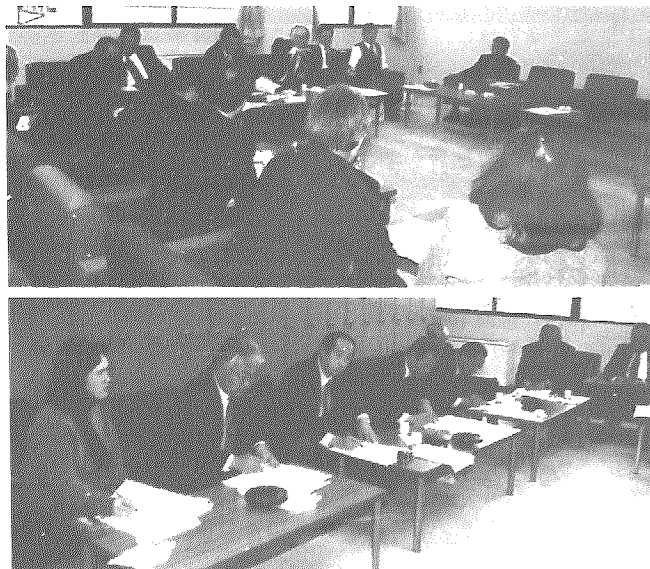


市町村合併の取り組みについて意見交換
姉妹村の美浦村から訪問団来町

1月23日、市町村合併の取り組みについて意見交換を行うことを目的に、姉妹村の茨城県美浦村の訪問団10名(村議会議員4名と役場課長6名)が当町を訪れました。

はじめに神田町議会議長と浅見町長、美浦村議会の坂部総務常任委員長があいさつ。続いて、合併事務担当職員から横越町合併問題調査委員会や新潟市・亀田町・横越町合併問題協議会等の経過について説明があり、また、神田議長から合併調査特別委員会などの議会側の経過の紹介があった後、合併後の建設計画などについて美浦村の方々から質問が多数出され、活発に意見交換が行われました。

茨城県では県による合併パターンが示されているものの、美浦村では具体的な合併議論が進んでいないのが現状で、今回の研修内容を今後の参考にしたいと話していました。



消防署員たちが寒い中、町内を疾走
無火災・無災害を願って祈願マラソン

1月4日・5日の2日間、亀田町消防署横越町分署の署員たちによる「無火災祈願マラソン」が実施されました。

このマラソンは、地域の皆さんと消防署が一体となって、町内が無火災であり、安全で安心して生活できる町となることを願って毎年この時期に行われているもので、今年で5回目となりました。出発にあたり浅見町長から「健康に留意しながら、地域の安定、人命と財産を守るため、今年も一生懸命取り組んで下さい」と訓示を受けた後、署員19名は「無火災祈願」と書かれたたすきをかけ、白い息をはずませながら消防車や救急車などとともに雪道約21kmを走って火の用心を呼びかけ、町内19か所の神社で無火災・無災害を祈りました。

横越町内の出動件数は、平成13年の1年間で、火災2件、救助4件、救急257件ありました。